

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	中央合同庁舎第5号館施設整備等事業			担当部局	大臣官房(会計課)			作成責任者	
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	大臣官房会計課管理室 福利厚生室			橋爪 良雄 上島 隆	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	国家公務員宿舎法第5条			関係する計画、 通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	厚生労働省の庁舎等について、経年により老朽化した設備等の改修・整備を行うことにより、来庁者や職員の利便と公務の能率増進を図ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	厚生労働省の庁舎等については、築後21年以上経過しており、老朽化が進行している状況にある。このような状況を踏まえ、個々の設備等の不具合発生頻度(耐用年数)や緊急度により、時宜に応じた計画的な改修や更新等を実施している。 平成28年度においては、経年劣化による損傷が著しく、早急な改修が必要となっている、①中央合同庁舎第5号館電気中央監視装置RS盤更新工事、②中央合同庁舎第5号館空調・衛生中央監視装置工事、③中央合同庁舎第5号館電灯分電盤更新工事、④厚生労働省小川宿舎及び鶴見宿舎の給水給湯設備改修工事、⑤厚生労働省電話交換設備更新工事を実施する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	484	176	201	41			
		翌年度へ繰越し	▲176	▲201	▲41				
		予備費等	-	-	-	-			
		計	664	267	439	256	0		
	執行額	632	258	363					
	執行率(%)	95%	97%	83%					
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	工期内の庁舎等の調査や 改修工事等の完了	完了件数	成果実績	件	3	1	1	-	-
			目標値	件	4	2	3	-	5
			達成度	%	75	50	33	-	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	庁舎等の調査や改修工事等の着手件数	活動実績	件	4	1	2			
		当初見込み	件	4	2	3	5		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	X:「当該年度の執行額」/Y:「当該年度の完了件数」	単位当たり コスト	百万円	211	176	363	51		
		計算式	X / Y	632/3	176/1	363/1	256/5		
平成28・29年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	施設施工庁費	7							
	施設整備費	208							
	計	215	0						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策											
	施策											
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度			
			実績値	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)							
					-							
					施策の進捗状況(実績)							
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	-											
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-									
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-				
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-				
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-												

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国が所有する庁舎等の機能を維持及び向上するために必要であり、公益に資する事業であるため、国民や社会のニーズを反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国が所有する庁舎等の改修工事であるため、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	国が所有する庁舎等の機能を維持及び向上するために必要とされる優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	原則として、一般競争入札を行い、競争性を確保しながら、支出先を選定しているが、厚生労働省小川宿舎及び鶴見宿舎の排水施設改修工事経費について、一者応札であり、入札説明書の配布も同様であったため、今後、入札公告があった際には事業者への声かけを行うなど、次回の入札に向けて改善する。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一般競争入札により調達を実施または実施予定であり、妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	整備計画に基づき、真に必要な費目に限定して支出している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	△	一部工事について、入札不調により工事が実施できなかったため。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	一般競争入札により最小限のコストで事業を実施した。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	一部工事について、計画変更により繰越を行ったものや、入札不調により工事が実施できなかったものがあつた。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績はほぼ見込みどおり推移している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	整備された施設については、国の庁舎等の施設として活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 平成26、27年度において、入札が不調に終わったことから工事が実施できなかったため、成果実績が当初見込みを下回った。 平成27年度においては、工事の進行段階に把握していない障害物等が発見され、工事の進捗に遅れが生じたため繰越を行っており、成果実績が当初見込みを下回った。 一般競争入札による競争性のある調達を実施しており、最小限のコストで事業を実施できた。 	
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 工事の着手及び進捗に遅れが生じないよう、事前の調査やスケジュール管理等を適切に実施し、当初見込みに沿った執行を達成できるように努める。 今後についても、引き続き、一般競争入札を実施し、可能な限り低コストで事業を行えるよう努める。 	
外部有識者の所見			

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	20	平成23年度	20	平成24年度	20	
平成25年度	931	平成26年度	930	平成27年度	936	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

〔 中央合同庁舎第5号館施設整備等事業 〕

厚生労働省
363百万円

〔一般競争入札〕↓

A.(株)パイプ技研
7百万円

〔支出委任〕↓

国土交通省
356百万円

〔 厚生労働省小川宿舍及び鶴見宿舍の排水施設工事経費 〕

〔一般競争入札〕↓

B.(株)トーエネック
356百万円

〔 厚生労働省電話交換設備更新工事 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)パイプ技研			B.(株)トーエネック		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	厚生労働省小川宿舍及び鶴見宿舍の排水施設改修工事経費	7	工事費	厚生労働省電話交換設備更新工事	356
計		7	計		356

